

# 東京アカデミーなら「新学習指導要領」に完全対応！



文部科学省が告示する教育課程の基準である「学習指導要領」。その「学習指導要領」が、2017年3月31日に改訂告示され、小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面実施、高校では2022年度から年次進行により実施予定です（高校は2017年度中に改訂告示予定です）。

## 学習指導要領の改訂のポイント・キーワード

### ■「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニングの視点)

①主体的な学び ②対話的な学び ③深い学び の視点に立った授業改善

### ■「カリキュラム・マネジメント」の実現

①教科等横断的な視点 ②PDCAサイクルの確立 ③地域社会との連携

## 教育内容の主な改善事項

- 言語能力の確実な育成
- 理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 道徳教育の充実
- 体験活動の充実
- 外国語教育の充実

## 東京アカデミー関東8校では…

東京アカデミー関東8校では、学習指導要領改訂に伴い、以下の対策を実施します。  
※実施内容は自治体ごとに異なるため、下記は一例です。

### 主体的な学び

- ・『**単元指導計画**』の講義で、「児童生徒に興味・関心を持たせる」「児童生徒が自己のキャリア形成と関連付けて学ぶことができる」授業を想定した単元指導計画のポイントを伝授します。
- ・『**指導案作成・授業構想**』の講義で、「児童生徒が学習内容と自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら主体的に学習に取り組む」授業のデザインを行い、実践を『**模擬授業**』の講義で行います。
- ・『**論作文**』の講義で、「児童生徒に学ぶことへの興味や関心を持たせる」ための実践策を、講義課題・添削指導を通じて、ブラッシュアップさせていきます。

### 対話的な学び

- ・『**単元指導計画**』や『**模擬授業**』の講義で、「ペアワーク」「グループワーク」「ディスカッション」等、他者と協働する手法について学びます。
- ・『**集団討論**』の講義で、「児童生徒に他者との協働を通じて、自らの考えを広げ深める」ための施策を、他者との討論を通じて、受講生自身も考えを深めていきます。

### 深い学び

- ・『**論作文**』の講義で、「児童生徒に問題発見・解決を念頭においた深い学びを実現し、学習内容の深い理解につなげる」ための実施策を、講義課題・添削指導を通じて、ブラッシュアップさせます。
- ・『**模擬授業**』の講義で、「児童生徒の問題意識に合わせた授業を実施し、深い学びを実現させる」ために、他の受講生に児童生徒役を演じてもらいます。授業の進度を調整したり、展開を工夫したりと、臨機応変に授業計画を変更できるよう練習します。

### 教科等横断的な視点

教科等横断的な視点についての内容・理念等を『**教育原理(学習指導要領)**』で学びます。その知識を基に、『**単元指導計画**』の講義で、教科等横断的な視点に立った単元指導計画の作成法を伝授したり、『**集団討論**』『**討論・面接**』の講義のテーマの1つとして扱います。  
(例) 言語能力を育むために、国語以外の授業でどういったことを実施しますか？

### PDCAサイクル

PDCAサイクルについての内容・理念等を『**教育原理(学習指導要領)**』で学びます。また、実際に講義開始時5分間で前回の講義を復習、『**模擬授業**』『**指導案作成・授業構想**』『**志願書作成**』の講義で、PDCAサイクルを体感していただけます。また、『**集団討論**』では、例えば「理想とする学校経営」といったテーマについて議論する中で、PDCAサイクルの観点からの回答を検討していただけます。

### 地域社会との連携

地域社会との連携についての内容・理念等を『**教育原理(学習指導要領)**』で学びます。その知識を基に『**集団討論**』『**討論・面接**』の講義のテーマの1つとして扱います。  
(例) 地域社会の特性を活かした国際理解教育の在り方とは？社会の一員であることを自覚し、積極的に社会参画できる力を身に付けさせるためには？  
また、『**単元指導計画**』の講義では「カリキュラム・マネジメント」を扱うほか、単元指導計画を作成する際に、そこで身に付けた知識・技能が社会にどのように役立つのか・役立たせるのかを意識させるとともに、個人面接での単元指導計画に関する質問にも対応できるようにします。